

京都大学工学部 正 員 ○佐佐木 綱
運輸省 正 員 堀田 治
京都大学工学部 学生員 竹林 幹雄

1. はじめに 本研究の目的は、地域風土に根ざした文学作品を利用することにより地域住民および外訪者にも親しみを持たれる地域計画を行うための示唆を得ることである。そこで、特定した文学作品（宮沢賢治著『風の又三郎』）の作品の文学内空間（文学内に演出され、文学作品として完結しているイメージの体系）の特性を知ることにより、文学作品に演出された地域風土の特性を把握することができる。そして地域風土を反映した計画のありかたについて考察を加えた。

2. 文学内空間のイメージ特性の把握

(1) 心理実験の概要：文学を地域計画に利用するためには、まず文学の中に演出されているイメージ空間の特性を知らなければならない。これには文学が読者に与える心理上の影響を把握することが必要である。文学作品の与えた心理上の影響は、文学から抽出した『刺激語』を用いた制限連想実験における連想パターン（読書前後における変化となって現れるものと考え、図-1に示す心理実験を行った。

(2) 分析手法の概要：本研究では、連想の課程を単純マルコフ過程であると仮定した。刺激語からの連想の遷移状態を確率で表して遷移確率行列を作り、そしてこの行列から得られる極限の状態確率を連想パターンの反映値であると考え、次に各刺激語の極限の状態確率の読書前後における変化を比較分析することにより、文学の影響を受けた語を特定することができる。この極限の状態確率（%）のことをイメージウェイトと定義し、この変化の大きな語を抽出することによって文学内空間のイメージ

- ① 分析対象となる文学作品の選定
- ② 実験用の刺激語の抽出（第一段階）
- ③ ②で抽出した刺激語による自由連想実験（事前・事後連想実験）
- ④ 自由連想実験結果を用いた実験用刺激語の補充作業（刺激語抽出の第二段階）
- ⑤ 最終的に抽出した刺激語を用いた制限連想実験（事前・事後連想実験）

図-1 実験の手順

表-1 イメージウェイトの変化（クロス表）～全体～

		事後連想でのイメージウェイト									
		9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
事前連想でのイメージウェイト	9										
	8										
	7										
	6	子供	川		水		空				
	5					雲	青				
	4		遊び	風	雨		太陽				
	3					野原	学校	山、運動場、白	火		
	2					魚	草	大入、生、野原、井、野、七	樹、赤		
	1							黒の木、馬、酒			朝
	0										

図-2は事前連想と事後連想においてイメージウェイトが変化しなかった言葉

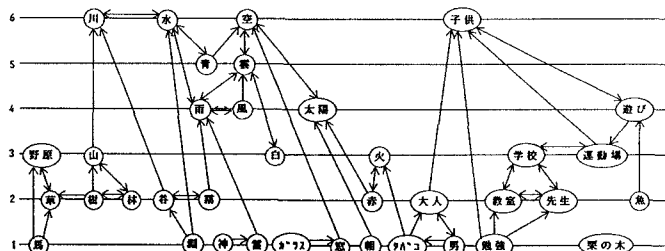


図-2 イメージ階層図（事前）

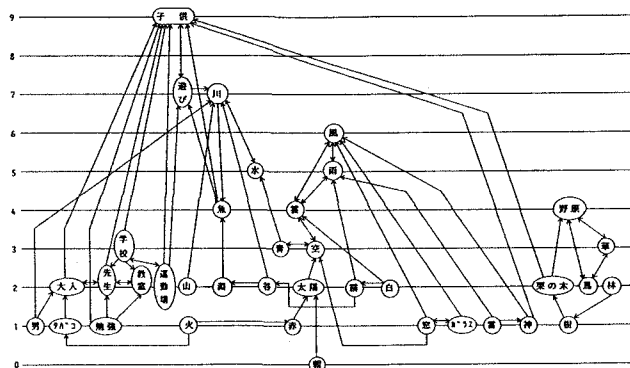


図-3 イメージ階層図（事後）

特性を把握する。またイメージウェイトの変化だけからは把握できない文学の影響を知るために、語同士の連想関係を図化し、イメージウェイトの計算結果と併用することにより、よりの確かな影響把握を目指した。

(3)分析結果：各語のイメージウェイトの読書前後の変化は、表-1のようになった。また、連想の関係図とイメージウェイトの計算結果を併用することにより読書の前後において制限連想用語の構成するイメージ構造を図-2、図-3のように表示することができる。さらにクラスタリングによってこれらの図は、図-4、図-5のような関係に帰着する。

以上の結果から、「風の又三郎」の文学内空間を構造的に明らかにすることができ、そのイメージ特性を表す重要な語が表-2のように抽出された。ここでキーワードというものは文学全体を象徴する語で『文学のテーマ性』と深い関わり合いを持つものである。最重要語は、文学における心象風景の象徴語、関係語は最重要語間関係を表す語である。その他に分類された語は、前述の語ほど文学イメージの特性に寄与しているとはいえないが童話イメージの影響をプラスの方向に受けた語としてピックアップされたものである。

3. 計画に向けて 今回の分析結果を利用して、ひとつの計画コンセプトを提案することができる。それは、「川」「野原」「風」「学校」という語によって象徴される活動の場を「子供」というテーマのもとで一体的に整備することである。具体的には、対象地域（花巻市大沢周辺）において、自然をうまく生かしながら全ての要素を統合した「青空教室的公園(Educational Park)」であるとか、川の水や風を入力とする「サウンドスケープ」の計画が考えられる。そこには「川」「野原」「学校」「風」のそれぞれをテーマにしたエリアを設け、一体的な整備が行われる。そして、「栗の木」などを用いたシンボル計画を合わせて行うことにより、他の地域とのイメージの差異化が計られ地域としての『自然なまとまり』を得ることができるであろう。

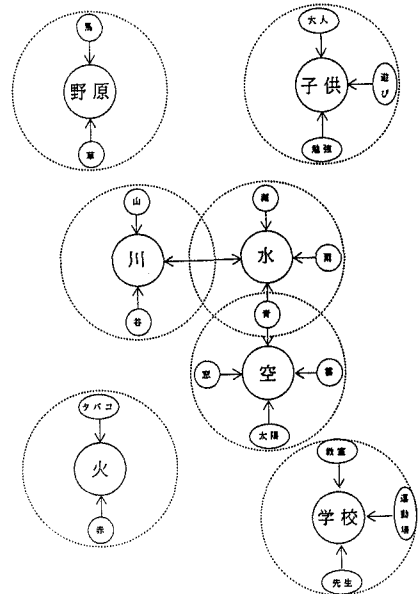


図-4 イメージテーマの関係（事前）

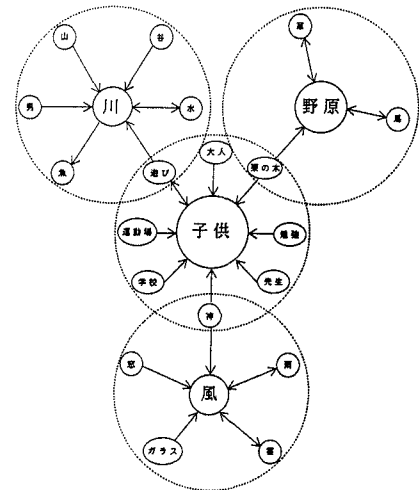


図-5 イメージテーマの関係（事後）

表-2 童話イメージの被影響語の分類

風の又三郎のキーワード	「子供」「風」
-------------	---------

最重要語 (イメージテーマ)	「子供」「風」「川」「野原」
関係語	「栗の木」「神」「遊び」
その他	「学校」「ガラス」「窓」「魚」「草」「馬」「雨」「草」「先生」「男」